

■作者のメッセージ

《地球上から核兵器と原発がなくなることを願って》

1945年8月6日、今広島市の平和大通りと言われている場所で、8,000人を超える中学校、女学校の低学年の子どもたちが「建物疎開」の作業のさなかに原爆の犠牲となりました。

その作業のなかにいた兄は、多くの級友が亡くなるなか生きのびたことへの「苦しみ」を背負い続けてきました。

被爆者の一番ちかくにいる「二世」の私にできることは何かを問いつづけるなかで、被爆体験がなくても父や兄たちの被爆者としての人生を語ることはできると思い昨年、詩「少年」を発表しました。

第五福竜丸展示館で偶然出会った絵本「ぼくのみたもの」の作者みなみななみさんに絵をお願いしたところ快諾していただきこの絵本ヒロシマの少年「じろうちゃん」がうまれました。

この本が、みなさまの手で多くの子どもたちへ届けられることを願っています。

2016年8月 やまだみどり